

# もっけの利用促進を図るには

C1240658 黒沼つばさ

問題 利用者のニーズ応える新しいコンビニ（もっけ）を提案する。

## 現状

現状のもっけに対して友達へのインタビューと自分で観察したところ

- ・照明が薄暗い
- ・品揃えが他のコンビニと比べて悪い
- ・店内が静かで少し不気味
- ・入口が不便な位置にある
- ・値段が安くない

という印象を感じていた。

## 課題

観察してわかった顕在的なニーズとして、

- ・品揃えと値段を改善してほしい
  - ・店内環境を改善してほしい
- ということがわかった。

ここから考えられることとして、「品揃えと値段を改善してほしい」という顕在的なニーズと「店内環境を改善してほしい」という顕在的なニーズから

- ・大学内でも買い物を楽しみたいのではないかと
- いう潜在的ニーズが考えられる。

## プロトタイプ

- ・コンセプト

大学内でも買い物を楽しみたい人向けにカフェテリアと協力した利用しやすく明るいもっけ

## プロダクト

（前提としてもっけの位置は現状商品の搬入のことを考えると場所を移動できないと考えられる。）

カフェテリアは主に昼頃を中心に利用者が多く人がにぎわう場所である。これを利用して

- ・カフェテリア利用者についでに立ち寄ってもらえるようなシステム

を使用する。

具体的にはカフェテリアで食券を購入した際に食券にミシン目をつけ 2 つに分けられるようにし注文用と保管用とする。注文用はそのままカフェテリアでの注文用に使用する。保

管用の食券は、ためることでもっけでサービスを受けられるようにし、5枚集めることで会計時に100円引きのクーポンと店頭で交換できるシステムを行う。他にも、券売機のなかに特別な券（保管用の券に「あたり！」と書かれてある）をランダムに数枚仕込んでおき、その券一枚でもっけ店内にある好きな商品1つ無料のクーポンと店頭で交換できるようにする。

もっけ店内では照明を増やし店内を明るくするように努め、カフェテリアで流れているラジオや音楽を店内で流して店内をよりにぎやかになるようにする。

品揃えに関しては現状の商品は維持しつつ、庄内地域のお菓子や飲み物などの地域限定品、公益大の校章が入った公益大限定品を置き他のコンビニとの差別化を図る。また、利用者アンケートを定期的に行い利用者の傾向を調べながら商品を増やしていく。

## 期待される効果

期待される効果として

- ・食券を集めるシステムによってカフェテリアを利用する理由ともっけを利用する理由が増え、利用者だけでなくカフェテリアともっけの両方にメリットができることが考えられる。

- ・当たりつき券を用意することで、カフェテリアでは当たるかどうかのわくわく感、もっけでは何を買うかというわくわく感を感じることができ、食事時と購入時で2つの楽しさを感じることができる。

- ・店内を明るくして限定商品の追加と定期的な商品の追加を行うことで、行くたびに店内を物色する楽しさが生まれる。

などの効果が期待できる。

これらの取り組みによって、ほかのコンビニにはない公益大独自のコンビニであるもっけを作り上げることができる。